

原疾患		尿たんぱく区分		A1	A2	A3
糖尿病	尿アルブミン定量 (mg/日) 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr)	正常		正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
		30未満		30~299	300以上	
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他	尿たんぱく定量 (g/日) 尿たんぱく/Cr比 (g/gCr)	正常		正常	軽度たんぱく尿	高度たんぱく尿
		0.15未満		0.15~0.49	0.50以上	
GFR区分 (mL/分 /1.73m ²)	G1	正常または高値	>90			
	G2	正常または軽度低下	60~89			
	G3a	軽度~中等度低下	45~59			
	G3b	中等度~高度低下	30~44			
	G4	高度低下	15~29			
	G5	末期腎不全 (ESRD)	<15			

重症度のステージはGFR区分と尿たんぱく区分をあわせて評価する。

重症度は原疾患・GFR区分・尿たんぱく区分をあわせたステージにより評価する。CKDの重症度は死亡、末期腎不全、心血管死亡

発症のリスクを緑 ■ のステージを基準に、黄 ■ ・オレンジ ■ ・赤 ■ の順にステージが上昇するほどリスクは上昇する。

A1は 尿蛋白 (-)(±)

A2は 尿蛋白(+)

A3は 尿蛋白(2+)以上

としてください。

(特定健診の判定結果で分類できるようにA1は 尿蛋白 (-)(±) A2は 尿蛋白(+)